

中学校第1学年 社会「中世の日本」

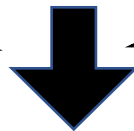
目標:承久の乱で朝廷側が勝利したとしたら、どのような世の中になったかを考え、根拠を持って説明することができる。

○子どもの「興味・関心」や「問い」を大事にした授業

- ・歴史の if を考えさせる発問から「武家政権の台頭」に繋がるようにした。
- ・小学校と中学校両方の教科書を見ながら、課題解決へのスライドを作成させることで、学習の系統性をもたせた。

もし、承久の乱で朝廷側が勝利したら、どのような世の中になっていたと考えられるか。
根拠をもって説明しよう。

小学校・中学校両方の教科書を見ながら



個人思考、グループ内交流を経て

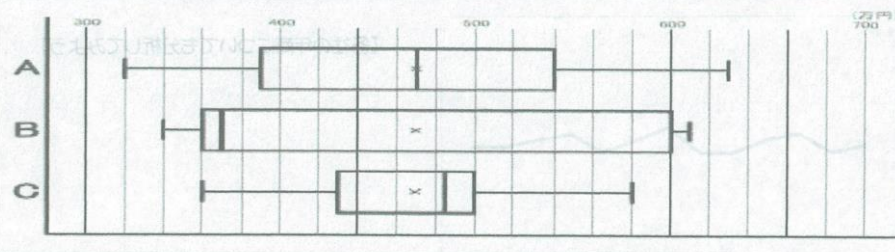
グループで Google スライドにまとめ、学級全体で交流

中学校第2学年 数学「データの分析」

目標:提示された箱ひげ図や折れ線グラフを適切に読み取り分析して、自分なりの考えをもち、論理的にまとめることができる。

第7章 データの分析 第2節 データの活用 (教科書P. 305) (ワークP. 70)

問: A・B・Cの3つの会社がある。下は、その会社で働いている100人の年収を箱ひげ図にしたものである。あなたなら、どの会社に就職したいかを考えなさい。(×印は平均値である。)



問: 次の折れ線グラフは、2010年～2022年のA～C社の年収(会社全体の収入のこと)を示している。箱ひげ図で分析したことと、この折れ線グラフを組み合わせることで、あなたはどの会社に就職したいかを考えなさい。

○子どもの「興味・関心」や「問い」を大事にした授業

- ・実生活に即し、必要感のある課題設定となるよう、箱ひげ図や折れ線グラフの内容を工夫した。
- ・2つのグラフを組み合わせることで、データがより詳細に分析できることを子どもが実感できる課題とした。

小学校・中学校全学年 教育課程(情報教育)での取組

R5.Chromebook 活用の目安 一覧表 (中学校区)		情報活用能力を育む学習プログラム参考						
		1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	中学1～3年
Chrome book		☐ ロデザイン ☐ 教師が指定した場面での活用	→	→	→	→	→	→
まなびポケット		☐ 教師の指示によるデジタルの取り込み(コピーペースト)	→	→	→	→	→	→
クラスルーム		☐ 教師の授業を閲覧	→	→	☐ 教師の投稿に返信	☐ 学級で共有したい情報を投稿	→	→
ドキュメント						☐ 作文の下書きを作成	☐ 作文の下書きを作成	☐ 作文の下書きを作成
スプレッドシート						☐ フォームとの連携	☐ フォームとの連携	☐ 情報の整理分析
スライド				☐ 1枚のスライドにポスター形式でまとめる	→	☐ 複数枚のスライドでのまとめ・発表	→	→
フォーム		☐ 教師の指示による選択式の質問に回答	→	→	☐ 教師の指示による選択式の質問に回答	→	→	→
ミート		☐ ビデオ通話	☐ ビデオ通話	☐ ビデオ通話	☐ ビデオ通話	☐ ビデオ通話	→	→
ドライブ					☐ 教師が指定したファイルのダウンロード・アップロード	→	→	☐ 班・グループのファイル共有

○子どもが安心して、進んで取り組める授業

- ・小中一貫教育の視点に基づいた学習規律 Chromebook 活用の目安を作成し、小中間で共有した。